



学校だより

第2号

令和5年12月22日発行

神奈川県立えびな支援学校

今年もいよいよ納めの時期になりました。今年、コロナ禍から明けて、地域の人たちとのふれあいがぐっと増えた2学期でした。「よつば祭」では、近隣小中学校からも参加していただき、にぎやかな「よつば祭」になりました。高等部の生徒は、作業班の活動を説明したり、質問に答えたり生き生きと笑顔で対応し、充実した表情をみせていました。中央農業高等学校とは、牛舎見学や動物とのふれあい学習、稲や野菜を育てる活動や一緒に焼きものを制作する等、いろいろな学部学年が活動を共にすることができました。地域と共に歩む「えびな支援学校」になっていることを感じた2学期でした。(A 部門長 山口)

B 部門小学部 2.3 年生

2・3 年生は、10月に校外学習で海老名のファンタジーキッズリゾートに行きました。今年度初めての校外での活動に、バスの中からみんなわくわくした表情をしていました。きれいな白い砂場やエアートランポリン、広いボールプール等で思い切り遊び、とても楽しい思い出になりました。10 月は麻溝公園に遠足にも行きました。お天気に恵まれ、青空の下モルモットに触ったり遊具で遊んだりおいしいお弁当を食べたり、楽しい一日を過ごすことができました。約束を守って集団行動ができたり、練習通り優しく動物と触れ合えたり、日頃の学習活動の成果を発揮する良い機会にもなりました。



A 部門中学部

9月29日に校外学習と2年生対象の宿泊学習を行いました。校外学習では、学校近くの海老名消防署へ見学に行きました。生徒たちは目の前にある救急車やはしご車が13メートルまで伸びる様子に目を輝かせていました。また、2年生のみの宿泊学習は防災学習を目的としたため、学校に宿泊しました。生徒たちは生活体験家庭科室での入浴や多目的室に敷いた布団での睡眠など、普段とは違う雰囲気になわくわくしている様子でした。夜は大道芸をされている方のマジックや一輪車の芸を見て、楽しい思い出をたくさん作りました。



B部門 中学部 1年生



B 中学部1年生の作業では、「農園芸」に取り組んでいます。中央農業高等学校の畑を借りて、野菜の苗植えから取り組み、ピーマンやナス、11月にはサツマイモをたくさん収穫しました。また、教室前のベランダで土作りから始め、花や野菜の種をまいて育て、観察や収穫をしました。暑い中、水やりや雑草取りを頑張りました。長靴を履いて、毎週のように畑で作業することは、良い経験となりました。最後は、収穫した野菜を家庭に持ち帰り、美味しくいただくことで、食育にも繋がりました。



B部門 高等部 2年生



B 高等部2年生は美術の授業で段ボールアート作りをしました。実は9月に美術館に行く予定だった校外学習が台風の影響で中止になってしまいました。それでも、授業の中で美術館に展示されているアーティストの作品をみんなで鑑賞し、段ボールの素材感を活かした作品作りにチャレンジ!

はじめは夏休みの思い出を生徒たちそれぞれが段ボールで表現しました。旅行先の風景やお手紙といった形に作っていきながら、素材の持つ硬さや柔軟さを学びました。

次にはいよいよクラスみんなで協力した作品作り。みんなのアイデアをまとめたり、立体をつくるといった目標を立てたりとクラスの特徴にあわせた共同作品が出来上がりました。

よつば祭の日には高等部のフロアを美術館のように作品を展示しました。見に来た保護者の方や地域の小中学生からも歓声や興奮の声が上がっていました。



えびな支援学校
公式 Instagram

学校の取組を
発信しています

EBINASHIEN